狭間にあるもの

日常にある不安。現実を直視した時に生まれる心のモヤと葛藤。それは自分の眼と
現実の狭間にある不透明なものだけど、目には見えない。その表現者としての要素
を感じた3 人の展覧会を企画しました。
揺れる光と影の朦朧とした造形に、心のフィルターを想起する今林明子。
半眼で虚空を見る人物に、不安の根っこを提唱させているような椎木かなえ。
一様にうつろな表情、見透かすような眼差しで生死感を表現する西川美穂。
いずれも多方面で高い評価を得た若い画家であり、そして観るものとの対話を静かに要求する絵
画がならびます。ぜひご来場ください。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com